

『時事直言』 No.1806 2026年5月27日国会議員号

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313 [mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019) [instagram] [t.masuda2026](https://www.instagram.com/t.masuda2026)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

建国 250 年の一夜成金(トランプ)と 4000 年の権謀術数史賢帝(習近平)

米中首脳会談でトランプは習近平を「偉大な政治家だ」と褒めたが、習近平はトランプについて何も言わなかった。

トランプは「習近平はアメリカを助けてくれる」と言ったが習近平は「出来るだけのことはする」と言っただけであった。トランプは習近平に「お願いします」、習近平は「よしよし」。

習近平がトランプに「高市(日本)は軍国主義に向かっている」と警告するとトランプは「そんなことはない」と言って高市をかばい、暗に日本は憲法第 9 条で縛っているから心配ないと言った。

米中首脳会談直後、イランが依存している中国(経済)とロシア(軍事)の首脳会談で両首脳は結束を確かめた。

圧倒的戦力を持つ米軍と南ベトナム軍に北ベトナム軍が勝ったのはソ連(軍事)と中国(経済)のバックがあったからである。

中国の差し金でパキスタンを仲介としたアメリカとイランの停戦協議が続いているが、停戦合意などあり得ないことはトランプもネタニヤフもモジダバ・ハメネイ最高指導者も最初から承知の上である。

もうじき合意に達するなど双方とも根も葉もない発言を繰り返しながら停戦を 30 日以上延ばすことでお互いに枯渇した武器、弾薬と攻撃、迎撃型ミサイルを補充して戦争再開に備えている。

中国がパキスタンを仲介にアメリカにイランとの停戦交渉を促したのは、停戦の為ではなく、イラン戦争長期戦を目論んでのことである。

中国はイラン戦争をベトナム戦争にしたいと願っている。

トランプがこれ以上にイラン戦争に巻き込まれて戦争が長期化すると、ベトナム戦争がそうであったようにアメリカは財政悪化、アジアでの軍事覇権は消滅する。

当然アメリカは、対台湾軍事支援は出来なくなり、習近平は対台湾武力平定のフリーハンドを手にする。

高市総理は天才的政治家であるが、取り巻きに先を読める者がいない。

今井尚哉(元安倍首相補佐官)を補佐官にすべきであった。

安倍初期内閣の中川昭一元財務大臣がイタリアの財政危機救済の為 10 兆円規模の米国債を IMF の SDR と交換したことが国際銀行総裁ゼーリックの知ることになり、日本の財務官や読売記者も協力して醜聞記者会見に追い込まれて政治生命を絶った中川昭一氏が私によく言っていた、「日本はアメリカと心中してはならない」と。

高市首相の「台湾有事は日本の有事」はアメリカとの心中決意である。

不慮の死を遂げた中川昭一氏に代わって警告したい。

大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」 いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏(真実)
★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtubeの視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。